

平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月9日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	1,202	△8.7	△183	—	△118	—	△72	—
26年4月期第1四半期	1,317	△5.1	△141	—	△117	—	△60	—

(注) 包括利益 27年4月期第1四半期 16百万円(—%) 26年4月期第1四半期 △40百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第1四半期	△19.60	—
26年4月期第1四半期	△16.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第1四半期	8,010	5,566	69.5
26年4月期	7,903	5,624	71.2

(参考) 自己資本 27年4月期第1四半期 5,566百万円 26年4月期 5,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,904	△0.1	△66	—	△29	—	△45	—	△12.18
通期	5,900	7.1	14	—	140	—	83	△47.5	22.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期1Q	3,695,900株	26年4月期	3,695,900株
② 期末自己株式数	27年4月期1Q	104株	26年4月期	104株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期1Q	3,695,796株	26年4月期1Q	3,695,796株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、緩やかな回復基調が続いており、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動による弱さも、その影響は次第に薄れつつあります。また海外経済においても、一部弱さが見られるものの、緩やかに回復しております。一方、先行きにつきましては、世界各地での紛争など不安定な状態による経済への影響も懸念されます。

このような環境の中、当社グループ製品が属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、多様な技術革新の必要性は変わらず、新製品への開発投資は一部製品において抑制傾向があるものの、依然として継続されております。当社グループは、これらのメーカーを顧客として、新規開発の試作品製造や新製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準での推移となりました。一方、介護・医療機器、新エネルギー関連分野において、ユニット・装置単位の受注が増加しております。また、中長期的な当社事業の成長に資するための研究開発活動として、マイクロフローデバイス技術や自立支援装置等をはじめとした介護・医療ロボットの研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,202百万円(前年同四半期比8.7%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は99百万円(同53.0%減)、営業損失は183百万円(前年同四半期は営業損失141百万円)となりました。以下、福島県からの助成金収入、東日本大震災にかかる東京電力株式会社からの受取補償金、スクラップ売却収入、受取配当金等の営業外収益85百万円(同82.8%増)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用20百万円(同7.3%減)を減じた結果として、経常損失は118百万円(前年同四半期は経常損失117百万円)となりました。

なお、前年度より、展開を開始したマッスルスーツにつきましては、経済産業省による「ロボット介護機器導入実証事業」の1対象機種として、公益財団法人テクノエイド協会が行う「ロボット介護推進プロジェクト」の補助事業として採択を受け現在、マッスルスーツの納入及び使用に関する指導等を積極的に行っており、事業完了報告後補助金が確定受領となる見込みです。

セグメントの概況を示すと、次のとおりです。

①試作・金型事業

携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカーを顧客としておりますが、一部企業の新機種開発への投資が低水準に留まり、当社業績も前年同様厳しい展開となりました。この結果、売上高は798百万円(前年同四半期比17.2%減)、営業損失157百万円(前年同四半期は63百万円の営業損失)となりました。

②量産事業

携帯電話等の情報通信機器メーカーならびに事務機器メーカーの一部製品の生産活動が低調に推移し、当社業績も前年同様厳しい展開となりました。この結果、売上高403百万円(前年同四半期比14.2%増)、営業損失24百万円(前年同四半期は63百万円の営業損失)となりました。

③その他

ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等により、売上高は0百万円(前年同四半期比53.8%増)、営業損失1百万円(前年同四半期は15百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、8,010百万円となり、前連結会計年度末比106百万円の増加(前連結会計年度末比1.3%増)となりました。うち、流動資産は、4,006百万円となり、前連結会計年度末比2百万円の増加(同0.1%増)となりました。固定資産は4,003百万円となり、前連結会計年度末比103百万円の増加(同2.7%増)となりました。

負債合計は、2,443百万円となり、前連結会計年度末比164百万円の増加(前連結会計年度末比7.2%増)となりました。うち、流動負債は、1,789百万円となり、前連結会計年度末比141百万円の増加(同8.6%増)となりました。これは、支払手形及び買掛金が105百万円増加(同20.3%増)したことが主因となっております。固定負債は、653百万円となり、前連結会計年度末比22百万円の増加(同3.6%増)となりました。これは、繰延税金負債が43百万円増加(同149.0%増)したことが主因となっております。

純資産は、5,566百万円となり、前連結会計年度末比57百万円の減少(同1.0%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の通期業績予想は、平成26年6月17日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なりリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,888,717	1,465,217
受取手形及び売掛金	1,466,903	1,696,746
商品及び製品	98,674	96,569
仕掛品	203,849	374,943
原材料及び貯蔵品	144,163	164,221
繰延税金資産	10,262	68,009
その他	211,767	159,438
貸倒引当金	△20,362	△18,901
流動資産合計	4,003,977	4,006,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,181,772	2,182,015
減価償却累計額	△1,053,834	△1,072,198
建物及び構築物（純額）	1,127,937	1,109,816
機械装置及び運搬具	2,330,766	2,364,814
減価償却累計額	△1,677,105	△1,722,255
機械装置及び運搬具（純額）	653,660	642,559
土地	993,629	994,073
リース資産	4,766	4,770
減価償却累計額	△4,039	△4,107
リース資産（純額）	727	663
建設仮勘定	170,534	171,000
その他	500,329	516,012
減価償却累計額	△365,411	△378,581
その他（純額）	134,918	137,431
有形固定資産合計	3,081,407	3,055,543
無形固定資産		
ソフトウェア	22,884	20,455
リース資産	15,961	14,443
その他	9,317	9,817
無形固定資産合計	48,163	44,716
投資その他の資産		
投資有価証券	651,349	787,255
繰延税金資産	2,564	2,768
その他	117,083	114,200
貸倒引当金	△978	△938
投資その他の資産合計	770,018	903,286
固定資産合計	3,899,590	4,003,547
繰延資産	302	226
資産合計	7,903,870	8,010,018

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	518,371	623,669
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	129,221	116,650
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払金	116,131	207,788
未払費用	90,449	113,708
未払法人税等	162,538	68,203
賞与引当金	55,326	53,714
その他	66,293	95,655
流動負債合計	1,648,333	1,789,390
固定負債		
長期借入金	246,840	221,850
役員退職慰労引当金	308,415	313,417
退職給付に係る負債	13,055	12,710
資産除去債務	8,218	8,244
繰延税金負債	29,102	72,468
その他	25,139	25,035
固定負債合計	630,771	653,726
負債合計	2,279,104	2,443,117
純資産の部		
株主資本		
資本金	358,434	358,434
資本剰余金	252,594	252,594
利益剰余金	4,910,496	4,764,131
自己株式	△86	△86
株主資本合計	5,521,439	5,375,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219,991	306,201
為替換算調整勘定	△117,800	△115,362
退職給付に係る調整累計額	649	621
その他の包括利益累計額合計	102,839	191,461
少数株主持分	487	366
純資産合計	5,624,765	5,566,901
負債純資産合計	7,903,870	8,010,018

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	1,317,960	1,202,934
売上原価	1,106,977	1,103,809
売上総利益	210,983	99,124
販売費及び一般管理費	352,733	282,699
営業損失(△)	△141,749	△183,574
営業外収益		
受取利息	20	68
受取配当金	5,618	5,920
助成金収入	5,309	35,031
スクラップ売却収入	6,332	10,832
受取補償金	25,078	24,413
その他	4,301	9,030
営業外収益合計	46,660	85,297
営業外費用		
支払利息	2,913	1,745
為替差損	1,348	1,139
シンジケートローン手数料	6,041	5,940
設備賃借費用	121	121
二本松工場遊休賃借費用	10,884	10,581
その他	630	807
営業外費用合計	21,939	20,335
経常損失(△)	△117,028	△118,612
特別利益		
補助金収入	115,000	—
特別利益合計	115,000	—
特別損失		
固定資産圧縮損	104,232	—
特別損失合計	104,232	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△106,260	△118,612
法人税、住民税及び事業税	2,602	10,779
法人税等調整額	△48,774	△56,821
法人税等合計	△46,171	△46,042
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,088	△72,570
少数株主損失(△)	—	△120
四半期純損失(△)	△60,088	△72,449

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,088	△72,570
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,788	86,210
為替換算調整勘定	△593	2,438
退職給付に係る調整額	—	△27
その他の包括利益合計	19,195	88,621
四半期包括利益	△40,893	16,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,893	16,172
少数株主に係る四半期包括利益	—	△120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年5月1日 至 平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	963,998	353,497	464	1,317,960	—	1,317,960
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	464	—	—	464	(464)	—
計	964,463	353,497	464	1,318,425	(464)	1,317,960
セグメント損失(△)	△63,062	△63,180	△15,534	△141,777	27	△141,749

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント損失の調整額27千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年5月1日 至 平成26年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	試作・金型事業	量産事業				
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	798,447	403,771	714	1,202,934	—	1,202,934
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	—	—	351	(351)	—
計	798,798	403,771	714	1,203,285	(351)	1,202,934
セグメント損失(△)	△157,737	△24,415	△1,421	△183,574	(0)	△183,574

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガンマカメラ関連事業及びヘルスケア製品の販売等です。

2 セグメント損失の調整額△0千円は、過年度のセグメント間取引に係る未実現利益実現等によるものです。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。